

# [森の人]講座

森と人とのつきあいかたを考える⑤

いっしょに森について学び、森を育てる活動をしませんか。  
地球上の7割の森林が失われ、貧困と飢餓が広がる今日。一方で  
世界のあちこちで森と生き、森をつくる人達が増えています。  
雨を呼び、きれいな空気、透き通った水、肥沃な土を生む森林。  
森はたくさんの生き物の命と豊かな暮らしを支えてくれます。  
私たちの食べ物や水・空気、衣類や住宅も森のおかげです。  
しかし古代から現代まで、森を浪費し続けている人類。  
森と人が一緒に地球に生きる意味を学び、共に考動しませんか？

やがて、  
木木木  
になる。



写真の「カニキョコン」は北海道大学名誉教授の第三郎先生が考案された、大人から子供まで誰でも気軽に森づくりができるリサイクルペーパーポットです。

## 通年企画 林業実習

講師◎加藤周一さん(林業士)  
～環境保全と木材供給を両立する人工林産業の実習～

## 通年企画 天然林づくり

～失われた森を人々の手で取り戻す活動～

## 春

森の人講座 第1回 '03・5/17(土) 14:00～  
山形の森でいったい何がおきているのか？

講師◎齊藤正一さん(山形県森林研究研修センター)  
～山形の森で何が起きているのか学ぶ～

森の遊学 第1回 '03・5/18(日) 9:00～

### ナラの森を守ろう

講師◎齊藤正一さん(山形県森林研究研修センター)  
～森林被害をくい止めるための防除法を学ぶ～

## 秋

森の人講座 第3回 '03・10/25(土) 14:00～  
森とともに生きる人々の暮らし 公開講座  
—『関川のしな織』の上映と語り—

講師◎六車由実さん(東北芸術工科大学)  
～『関川のしな織』の上映と語りを通して学ぶ～

森の遊学 第3回 '02・10/26(日) 8:00～

### 秋の摩耶山に登る

案内◎尾形俊成さん(庄内総合支庁)  
～摩耶山の美しく多様な森を楽しむ～

## 夏

森の人講座 第2回 '03・7/13(日) 14:00～  
湖と森と人を結ぶ霞ヶ浦再生事業・アサザプロジェクト  
—市民型公共事業の展開—

講師◎飯島 博さん(アサザ基金)  
～未来の自然と共にある循環型社会の創造について学ぶ～

森の遊学 第2回 '03・7/12(土) 10:00～

### 水と人のつながり

講師◎草島進一さん(ウォーターワッチネットワーク)  
～カヌーに揺られながら自然と水環境の保全について学ぶ～

## 冬

森の人講座 第4回 '04・1/17(土) 14:00～  
失われゆく原生林  
—世界に残る原生林から日本市場へ—

講師◎尾崎由嘉さん(グリーンピース・ジャパン)  
～世界各地の原生林の商業的伐採と日本市場との関わりを学ぶ～

森の遊学 第4回 '04・1/18(日) 6:00～

### 冬の高館山～美しいブナ林と冬鳥を訪ねて～

講師◎太田 威さん(写真家)  
～冬の天然林とそこに棲む生き物の世界に一步足を踏み入れる～

# [森の人]講座

森と人とのつきあいかたを考える⑤

いっしょに森について学び、森を育てる活動をしませんか。  
地球上の7割の森林が失われ、貧困と飢餓が広がる今日。一方で世界のおちこちで森と生き、森をつくる人達が増えています。雨を呼び、きれいな空気、透き通った水、肥沃な土を生む森林。森はたくさんの生き物の命と豊かな暮らしを支えてくれます。私たちの食べ物や水・空気、衣類や住宅も森のおかげです。しかし古代から現代まで、森を浪費し続けている人類。森と人が一緒に地球に生きる意味を学び、共に考動しませんか？

やがて、  
木木木  
になる。



写真の「カニキョコン」は北海道大学名誉教授の第三郎先生が考案された、大人から子供まで誰でも気軽に森づくりができるリサイクルペーパーポットです。

通年  
企画

## 林業実習

講師◎加藤周一さん（林業士）  
～環境保全と木材供給を両立する人工林産業の実習～

通年  
企画

## 天然林づくり

～失われた森を人々の手で取り戻す活動～

春

## 森の人講座 第1回 '03・5/17(土) 14:00～ 山形の森でいったい何がおきているのか？

講師◎齊藤正一さん（山形県森林研究研修センター）  
～山形の森で何が起きているのか学ぶ～

森の遊学 第1回 '03・5/18(日) 9:00～

## ナラの森を守ろう

講師◎齊藤正一さん（山形県森林研究研修センター）  
～森林被害をくい止めるための防除法を学ぶ～

秋

## 森の人講座 第3回 '03・10/25(土) 14:00～ 森とともに生きる人々の暮らし 公開講座 —『関川のしな織』の上映と語り—

講師◎六車由実さん（東北芸術工科大学）  
～『関川のしな織』の上映と語りを通して学ぶ～

森の遊学 第3回 '02・10/26(日) 8:00～

## 秋の摩耶山に登る

案内◎尾形俊成さん（庄内総合支庁）  
～摩耶山の美しく多様な森を楽しむ～

夏

## 森の人講座 第2回 '03・7/13(日) 14:00～ 湖と森と人を結ぶ霞ヶ浦再生事業・アサザプロジェクト —市民型公共事業の展開—

講師◎飯島 博さん（アサザ基金）  
～未来の自然と共にある循環型社会の創造について学ぶ～

森の遊学 第2回 '03・7/12(土) 10:00～

## 水と人のつながり

講師◎草島進一さん（ウォーターワッチネットワーク）  
～カヌーに揺られながら自然と水環境の保全について学ぶ～

冬

## 森の人講座 第4回 '04・1/17(土) 14:00～ 失われゆく原生林 —世界に残る原生林から日本市場へ—

講師◎尾崎由美さん（グリーンピース・ジャパン）  
～世界各地の原生林の商業的伐採と日本市場との関わりを学ぶ～

森の遊学 第4回 '04・1/18(日) 6:00～

## 冬の高館山～美しいブナ林と冬鳥を訪ねて～

講師◎太田 威さん（写真家）  
～冬の天然林とそこに棲む生き物の世界に一步足を踏み入れる～



**森の人講座 第1回** 03・5/17(土) 14:00～  
**山形の森でいったい何がおきているのか？**  
 講師◎齊藤正一さん 会場◎つるおかコースホテル

内容	日程
地域の自然を保全するために、いま日本で、そして山形の森で何が起きているのか理解しませんか、なぜマツやナラが次々と枯れていくのか、サルやシカ、クマによる森林被害とは？その対応策とは？森林を保全する為に第一線で活躍する研究者にお話を伺います。	13:30～受付 14:00 講座開講 17:00 閉講 18:00 夕食交流会 <small>※有難講義の玉串と料理汁の他に森の暮らしの料理、持ち寄り大歓迎です。</small>

**第2部 フリーディスカッション**  
**「山形の森、どうなる？ どうする？」**

内容	日程
どうやって天然林や人工林を保全していくのか？必要な環境教育とは？そしてその活動は誰が担うのか？環境教育に詳しい吉崎明さん（森林研究開発センター）の基調講演と参加者同士で話し合いを進めます。	19:00～ 21:00 終了

**森の遊学 第1回** 03・5/18(日) 9:00～15:00  
**ナラの森を守ろう**  
 講師◎齊藤正一さん 場所◎鶴引町内山林

内容	日程
カシノナガキタイムンによるナラ枯れが深刻化する山形県、この森林被害をくい止めるための防除活動を齊藤さんに教えていただきます。	9:00 集合 (つるおかコースホテル) 10:00 到着 齊藤正一さんのお話と作業の説明・作業開始 15:00 終了・解散

◎持ち物：お弁当、飲み物、作業できる格好、軍手（あればノコギリ、ナタ）

**天然林づくり 第1回** 03・5/31(土) 9:00～15:00  
**つる切り、草刈り、道整備**

今年整備する森の範囲を決め、手入れする木々や野原に印をつけたり、道に標識を設置するなどの準備をすめます。またつる切り・草刈りを行い、広葉樹の木々の成長を促進します。

**林業実習 第1回** 03・6/1(日) 9:00～15:00  
**間伐と搬出**

近年の日本の木材を育て、森林の多様性を保全するためにもっとも大切な間伐。実習林で比較的大きな木を間伐し（足学）搬出します。それらは製材所に持ち込み、木材として活用し、次の講座で参加者に分配。

◎「森の人」講座について

- ・森の人講座……森について共に学び考える講座です。
- ・森の遊学……森と全身で遊び、感じる体感講座です。
- ・天然林づくり……広葉樹、針葉樹が混在した豊かな天然林をつくる実習講座です。
- ・林業実習……間伐と調出した林業を1年を通して実習し、学びます。

※この講座は、山形県産材三割の「おたの森（おひのもり）」中にある「つるおかコースホテル」を主な会場として開催します。おたの森は数社連年の社員で、自然の保全を心がけ育てられている貴重な森林です。東北日本産材では唯一の産地で、ツバの自然林などもあり、県の天然記念物・山形県産材の自然環境保全地域にも指定されています。

**森の人講座 第2回** 03・7/13(日) 14:00～  
**湖と森と人をつなぐ霞ヶ浦再生事業・アサザプロジェクト**  
 講師◎飯島 博さん  
 会場◎つるおかコースホテル

内容	日程
1995年に始まった「アサザプロジェクト」は、湖岸植生の復元、放棄水田を主とした水質浄化、水田の山林の保全などを、環境教育（流域の小学校170校が参加）や保全生息地の乱雑研究と一体化しながら流域全体で展開し、7万人を超える市民が参加しています。幅広い多層的な市民社会を、元来の自然と共にある循環型社会の創造へとつなげていく活動についてお話しします。	13:30～受付 14:00 講座開講 17:00 閉講 18:00 夕食交流会

**第2部 フリーディスカッション**

内容	日程
地域市民のネットワークをいかに創るか話し合います。	19:00～ 21:00 終了

**森の遊学 第2回** 03・7/12(土) 10:00～  
**水と人のつながり**  
 講師◎草島進一さん 場所◎高館山下池

内容	日程
鶴岡市の自然と水環境を保全する活動を市民活動と市議会を通して進めてきた草島進一さんに、高館山の美しい天然林の中にある下池でゆっくりとカヌーに揺られながらお話を伺います。お話しもお茶もカヌーの上で楽しみます。	9:30～受付 (集合場所：鶴岡市大山公園駐車場) 10:00 講座開講 お話しとカヌートレック 14:00 閉講

**第2部 光る夜の海で泳ぐ** (集合場所：つるおかコースホテル)

内容	日程
砂浜の下から美しい湧水が湧く三瀬海岸。ここには発光性の植物プランクトンが湾内に集ち、夜の海に入ると全身が光り輝き、不思議な遊泳が楽しめます。	19:00～ 21:00 終了

**天然林づくり 第2回** 03・8/23(土) 9:00～15:00  
**天然林のつる切り・草刈り**

成長途中の多種多様な樹木に覆い被さる草やツルを取り払い、将来の森の姿を考えながら手入れをし、天然林の成長を促進します。

**林業実習 第2回** 03・8/24(日) 9:00～15:00  
**杉林のつる切り・下草刈り**

成長途中の樹木にとってツルや下草は成長の妨げや枯死の原因になります。実習林の杉林の中で駆除するツルや下草を刈り、杉林の健全な成長を促進します。

**森の人講座 第3回** 03・10/25(土) 14:00～  
**森とともに生きる人々の暮らし** **公開講座**  
 講師◎穴倉由美さん  
 会場◎東北公益文科大学 養育サイト

内容	日程
森を多種多様な感性と方法で暮らしに活かしてきた森林文化。それは地域の自然と歴史という側面で見られる発掘してきた「共生する命のつながり」でもありました。今急遽に失われつつある森と共に生きる者を、『山形県環境時間誌』に伝える「しな織」の映像と語りを通して学び、森林文化の継承・創造へと結び付けて行きたいと思えます。	13:30～受付 14:00 講座開講 17:00 閉講 19:00 夕食交流会 (つるおかコースホテル) <small>※有難講義の玉串と山をならではの芋栗の他に焼き栗、餅、もち、もちもち大歓迎です。</small>

**第2部 もう一つの上映会【『牛房野のカノカブ』]**  
 会場◎つるおかコースホテル

内容	日程
山形県尾花沢市牛房野では今でもカノ（熊鷹）が行われている。牛房野の季節の移り変わりとともに、カノカブ作りの一年を越した作品。（東北文化研究センター-民俗映像シリーズ1/48分/2801年）	20:00～ 21:00 終了

**森の遊学 第2回** 02・10/26(日) 8:00～15:00  
**秋の摩耶山に登る**  
 案内◎尾形俊成さん

内容	日程
東北でも珍しい山の一つに上げられる摩耶山。しかしその険しさの裏には美しく多種多様な山が広がり、頂上からの眺望は太夫からの自然観に迫り着いたような姿がある山。この山を尾形俊成さんとご案内いただきます。	8:00 集合 (つるおかコースホテル) 9:00 摩耶山登山口到着 12:00 頂上到着・昼食、休憩 15:00 下山 16:00 終了 解散 ◎持ち物：お弁当、飲み物、歩きやすい服装、雨具、手袋

**天然林づくり 第3回** 03・10/18(土) 9:00～15:00  
**種拾い・植林**

数年後に植林する為に木々の種を拾い集めます。またカニネッココンで植林し、森の再生活動を進めます。

**林業実習 第3回** 03・10/19(日) 9:00～15:00  
**除伐・間伐**

伐木造材の講師を誘った参加者自身がチェーンソーで除伐・間伐し、その材を搬出します。それらは製材所で製材され木材になり、参加者に分配されます。

**天然林づくり 第4回** 03・11/22(土) 9:00～15:00  
**森のクラフト** 会場◎つるおかコースホテル

①鳥のえさ台 ②流木ランプから一つ選択し、身近にある材料を使ってクラフトを楽しみます。

**林業実習 第4回** 03・11/23(日) 9:00～15:00  
**枝おろし**

杉の結わった下枝をそのままにすると腐り腐れなどの有害虫が杉に侵入したり、木材に長い節として残るなど後に患影響を残す可能性があります。大きく成長した杉にハンゴと足場を使い、枝おろしをします。

**森の人講座 第4回** 04・1/17(土) 14:00～  
**失われゆく原生林**  
**一世界に残る原生林から日本市場へ**  
 講師◎尾崎由美さん 会場◎東北公益文科大学 高田キャンパス

内容	日程
かつて、地球上の広大な面積を占めていた原生林は、このわずか30年間で、原形あったうちのおよそ80%がすでに破壊されるか、姿を大きく変えられてしまいました。原生林破壊の主な原因は、大規模な商業的採伐によるものです。世界有数の木材輸入国である日本も、この原生林破壊に携っています。グリーンピースがこれまで取り組んできていたカナダ、アマゾン、太平洋地域の事例を挙げながら、日本市場との関わりを学びます。	13:30～受付 14:00 講座開講 17:00 閉講 18:00 夕食交流会

**第2部 小さな島の森林資源利用**

内容	日程
参加者に様々な立場の役を振り分けたロールプレイを通じて、木材消費国の日本の私たちにどうつながっているか、共通の理解するワークショップを行います。その中で地道なことを利用しながら現実をみながら考えていきます。	20:00～

**森の遊学 第4回** 04・1/18(日) 6:00～  
**冬の高館山～美しいブナ林と冬鳥を訪ねて～**  
 講師◎太田 威さん 場所◎高館山

内容	日程
ブナなどの天然林が広がり、ふもとに池にはハクチョウやオオセシキイなど冬の野鳥が数多く飛来する高館山。この尾道の里の自然を存護し、写真に収めてきた太田威さんに案内頂き、冬の天然林とそこに集まる生き物の世界に一歩足を踏み入れます。	6:00 集合 鶴岡市高館山下池（野鳥観察小屋） 10:00 終了 ◎持ち物：スキーウェアなどの防寒具、双筒鏡、携帯食

**天然林づくり 第5回** 04・2/21(土) 9:00～15:00  
**森の整備**

昔年に活動をすすめやすいように作業道の整備や、植林した木々の保護を行います。

**林業実習 第5回** 04・2/22(日) 9:00～15:00  
**伐採**

十分成長した巨木大きな杉を参加者が伐採し搬出する様子を見学し、杉の伐採の方法と搬出について学習します。また参加者の杉の木で作られた建物を見学します。



## 「天然林づくり」(通年5回) 失われた森を市民の手で取り戻す活動

次々と失われていく原生林。この半世紀で世界の七割の森林が失われた今日、各地域ごとに広がっていた原生林を取り戻す術はいまだ確立していません。

鶴岡市三瀬の葉山でも度重なる伐採や病害虫で原生の植生はかなり失われてしまいました。すぐ傍の海では磯焼けも広がっています。この葉山に元々あった深い森と生態系を取り戻すべく、地域の住民が「カミネッコン」を使い、大人も子供も参加して広葉樹を植林し始めています。ここで研究・研修し、自然の流れに沿いながら森を育む活動を進めていきます。共に学び、試行錯誤しながら豊かな森へと繋がる心と技術を深めていきましょう。

活動場所/山形県鶴岡市三瀬(葉山)  
テキスト/「森林・林業の基礎知識」全国林業普及協会

## 「林業実習」(通年5回) 環境保全と木材供給、 そして暮らしを両立させる林業実習 講師◎加藤周一さん(林業士)

鶴岡市三瀬で林業を営む加藤周一さんの丁寧に手入れされた杉林は明るく清々しい。樹齢80年を超える杉は悠々として枝も逞しく、足元にはミズヤシダなど多彩な植物が生い茂り、生物の多様性に富んでいます。

100haにもなる広い森から1年に切り出される木は、森のサイクルを十分に考慮し、産直の家1棟分のみ。切り出された木は地域の製材所・建築士・大工との連携で、芸術的で住みごっこ良く、値段も良心的な家になります。

自然環境と文化、そして暮らしを豊かに育む林業の姿を追求している加藤さんと共に森で作業し、智恵と技を学び、荒廃する日本の森と林業に生かしていきたいと思えます。

活動場所/林業体験実習林(山形県鶴岡市三瀬)  
テキスト/「森林・林業の基礎知識」全国林業普及協会  
「応援しよう 林業体験入門」森林の本シリーズ2 全国林業普及協会

- \*各コース持ち物 ・作業着、長靴、手袋、ヘルメットなどを準備  
・ナタ、ノコギリ、草刈り鎌、チェーンソー、刈り払い機などお持ちの方はご持参ください。  
・お弁当、飲み物持参。
- \*テキストは配布予定です。

【応募】連続講座の定員は50名です。また、部分参加も可能です。  
【主催】「森の人」講座実行委員会/山形県生涯学習文化財団  
【共催】創造ネットワーク研究所  
【後援】山形県・鶴岡市・鶴岡市教育委員会・東北公益文科大学  
みずとみどり研究会  
【お問い合わせ】〒999-7463 山形県鶴岡市大字三瀬字宮の前1-1  
森の隠れ家一つのおかユースホテル内「森の人」講座実行委員会  
TEL & FAX: 0235-73-3205  
E-mail: tyh@yamagata-npo.ne.jp 担当: 菊池良磨

- 講演会の後の夕食交流会は1,000円の参加費で誰でも参加できます。また自慢の一品の持込などは自由です(大歓迎)。
- 『森の人』講座と『森の遊学』、『林業実習』と『天然林づくり』に参加される方のみ宿泊料金は朝食込みで、3,150円です。
- 四季を通じて森づくりや森林生態系、森林文化等を学びますので連続受講される方を優先させていただきます。
- 部分参加も可能です。

受講申し込み書(ご郵送いただくか、ファックスでお申し込みください)

お名前(フリガナ) \_\_\_\_\_ (キリトリ)  
年齢 \_\_\_\_\_ 性別 \_\_\_\_\_ 電話番号 \_\_\_\_\_  
住所 〒 \_\_\_\_\_ 勤務先(学校名) \_\_\_\_\_ E-mail address \_\_\_\_\_  
才 男・女

受講希望の講座を○で囲んでください。

全講座・[森の人講座] 第1回・第2回・第3回・第4回 [森の遊学] 第1回・第2回・第3回・第4回 [林業実習]・[天然林づくり]

**飯島 博(いじまひろし)さん**—アサザ基金  
1956年生まれ、NPO法人アサザ基金代表理事。養蜂・北酒をよとする市民連絡会議事務局長、わたらせ  
未東基金代表世話人、ヒシクイ保護基金代表、牛久の自然を守る会代表、専門は環境計画、日本の里山に生  
息した「ガキ大杉」に属するおそろく最後の里山、中学生時代に水産部などの公害事件を知り、自然と人  
間の共存について考えはじめ、高・高専生事業「アサザプロジェクト」の企画運営、渡良瀬流域の再生事  
業「わたらせ未東プロジェクト」の企画、環境計画、ビオトープ(瀬水水郷トンボ公園・山王河川ビオトープ、  
学校ビオトープネットワーク等)の企画設計、自然保護の推進策「オオヒシクイ」案、森林保全のため  
の企業組織「養蜂連絡会」の設立、環境教育プログラムの企画運営などを行っている。2000年3月第一  
回明日への環境賞(朝日新聞主催)など受賞多数。著書「よみがえれアサザ咲く水辺—高・高専からの挑戦」  
飯島博・鷺伊いづみ共著、「自然保護のための市民営公共事業」環境と公害2000年4月号岩波書店、「自然再  
生事業—生物多様性の回復をめざして」共著 環境情報

**大田 威(おおたいたいけい)さん**—写真家  
1943年、形勢生まれ、幼い頃から郷土の自然に関心、山形県立鶴岡工業高校を卒業後、会社勤めをし  
ながら東北のブナ林を中心に撮影と調査を続ける。1974年、写真家として独立、郡内三山の自然を  
守る会代表理事、日本自然保護協会、日本野鳥の会に所属、主な著書に「ブナのははるの夢」(あかね書房)、  
「ブナ原生林」(時事通信社)、「ブナ林に生きる」(ナタクリ 花城・秋の森で)、「平凡社」など。

**尾形俊成(おがたとしなり)さん**—庄内総合支庁  
1970年生、大分県出身、少年期は九州で過ごす。しかしながら、両親が庄内出身であるため、実は純粋な庄  
内人である。1996年山形大学大学院農学研究科卒業、在学中は、ブナの早稲運動に関する研究を行う。現  
在は山形県庄内総合支庁森林整備課に勤務、職をえられた。主に山形県内を中心に山歩きを行っている。

**尾崎由嘉(おざきゆかり)さん**—グリーンピース・ジャパン  
1971年生まれ、高校戦争やリベラリズムなど世界的な動きを報道を通じて受け止めることへの出来  
なかった高校生活の後、環境で生かす環境活動に携わりたいという一心で、高校卒業後に渡米、  
オレゴン州立大学で環境学専攻を専攻、ボランティアによって支えられたNPOの活動が広く認識されて  
いる米国で、授業以外の場でも、学生を支援するボランティアセンターや自然環境教育センターなどで地域の発展に  
いる問題に取り組む活動を経験していき、米国の活動の中で、さまざまな分野の専門家と、自分の利益の  
ためではなく貢献できる分野でボランティアとして地域活動に参加している人々の多さに、驚かされる。  
大学卒業後は米国での社会人として経験を積んでいく中で、ボランティアのあった全くはたけの違うイン  
テリア系株式会社でボランティアにて2年間勤務、その経験から販売力を広げ、街や国立公園の案内  
などを始めながら、大学生生活とは違う楽しさを得たが、やはり実際に問題に携わって解決につ  
づく活動をしていきたい気持ちが変わらず、そうして志をまとめて日本に帰国、少して環境問題の解決に  
繋がる場だけを探し続け、2011年にグリーンピース・ジャパンに入り世界的に展開する環境的な活動な  
る原生林の伐採問題に取組み活動を開始している。活動上で実際に取られているものは、何よりも体力だと、  
笑顔、小学生から始めて米国でも続けられてきた報道で育った体力が、一歩立ち立っている気がする、グ  
リーンピース・ジャパン 調査レポート「森林破壊の連鎖」の発表などに携わる。

**加藤周一(かとうしゅういち)さん**—林業士  
1955年、鶴岡生まれ、18歳から家業の林業を継ぎ、山づくり、山づくりを進め10年前から木と木の産直  
を奨励、山を守りながら地域環境に合わせた林業を進め、自然の多様性に富む杉林をつづけている。また1  
年に1棟分だけの杉を抜き出し、地域の製材業者、建築家、大工と連携して住宅オーナーに良心的かつ  
くもりのある家を産直で提供している。著書「アサザプロジェクト」。

**草壁進一(くさべしんいち)さん**—アサザ基金  
1965年山形県鶴岡市に生まれ、1989年山形大学農学部卒業、雑誌「アクトピア」のライター、らていつ  
しゅびーの編集部に務めた。1990年から長年大震災の為に神戸元災材でボランティアとして活動を  
展開、元神戸元災材代表、現在は復興鶴岡市に帰り、地元で自然環境を育む活動を続け、山ガム  
問題にも取り組む。現在アサザ基金ネットワーク代表。

**齊藤正一(さいとうしんいち)さん**—山形県森林研究センター  
1960年1月10日生まれ、山形県 A型 東京都武蔵野市(鶴岡の近づくの跡地で生まれる)実家は  
現在「クレコをしんちゃん」の埼玉都春日部市(1979年5月埼玉県に編入)高専普通科卒業。1982年3月新  
潟大学農学部林業科卒業、卒業のテーマ「海岸林における土壌動物の季節変化」、職歴/1982年4月—  
1995年3月(4年)山形県森林庁林業課、林出産課、林出産課、林出産課、林出産課(期間取り)と順  
々のため転職、しかし山形県で林業職採用なし、都立外務の試験にパスして会社員(イク)にのり、1988年4  
月~1987年3月(1年)の職政東北林業管理財団政務官(山形県山形市山形市職員、職歴/1982年4月—  
みはら調で資金と保険の加入、若者をやり新人を育成する山形県の林業職に定かり本職に復帰)、  
1987年4月—山形県職員技術官、西村山地方事務所林業課、西宮地方事務所林業課、地方林政課  
1994年から現在まで山形県森林研究センター 副、森林環境部主任専門研究員、職務:森林の抽出  
官の役割の研究、里山林の保全と生物多様性に関する研究、趣味:山に登ってスケッチすること。

**六車由実(むくろゆみ)さん**—東北芸術工科大学 東北文化研究センター  
1970年群馬生まれ、大東大学大学院文学研究科修士、文学博士、民俗思想論専攻、現在、東北芸術工科大  
学東北文化研究センター研究員、東北の民俗の聞き書きと進行して、学生とともに民謡神楽の制作を進め

【料金】	全講座	1回参加
・森の人講座(全4回)	2,000円(学生1,500円)	1,000円
・森の遊学(全4回)	4,000円(学生2,000円)	1,000円(学生500円)
・天然林づくり(全5回)	1,000円(保険料のみ)	200円(保険料のみ)
・林業実習(全5回)	7,500円	1,500円

